



セルビア共和国 (Republic of Serbia)



- セルビアへの援助総額は2014年までに累計555.43億円。
- 近年の重点支援分野は、民間セクター開発、環境保全、保健医療、教育。
- 2003年に首都ベオグラード市に93台のバスを供与。市民の足として非常に親しまれている。

国概要

(基礎データ)

- 面積: 77,474平方キロメートル(北海道とほぼ同じ)
- 人口: 712万人(2011年, 国勢調査)
- 首都: ベオグラード
- 民族: セルビア人83%, ハンガリー人4%等
- 言語: 公用語はセルビア語
- 宗教: 国民の84.5%がセルビア正教(その他, カトリック, イスラム教等)
- 政体: 共和制
- 議会: 一院制(250議席)
- GDP: 439億ドル(2014年, 世銀)
- 一人あたりGNI: 5,820ドル(2014年, 世銀)
- 経済成長率: -1.85%(2014年, セルビア統計局)
- 失業率: 18.9%(2014年, セルビア統計局)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

7世紀頃	スラブ人が定住
11世紀	中世セルビア王国建国(~14世紀)
1389年	オスマン帝国に敗北し、その支配下に入る
1878年	ベルリン条約によりセルビア王国の独立承認
1918年	セルビア人・クロアチア人・スロベニア人王国(後、ユーゴスラビア王国)の建国に参加
1946年	社会主義ユーゴスラビア連邦の構成共和国の一つとして発足
1992年	ユーゴ解体の中で、モンテネグロとともに「ユーゴスラビア連邦共和国」を建国
1999年	コソボ紛争によりNATO空爆を受ける
2003年	国名を「セルビア・モンテネグロ」に変更
2006年	モンテネグロが独立し「セルビア共和国」となる
2008年	コソボがセルビアからの独立を宣言

援助実績

スキーム	額(累計)／人数(延べ)
円借款	282.52億円 (2014年度末時点)
無償資金協力	230.01億円 (2014年度末時点)
技術協力	42.90億円 (2014年度末時点)
シニア海外ボランティア	延べ14人 (2016年7月時点で1人)

経済関係

スキーム	金額／人数(直近年)
日本からセルビアへの輸出	19.38億円(2015年度, 財務省) (セルビアの輸入全体の約0.09%)
セルビアから日本への輸出	240.02億円(2015年度, 財務省) (セルビアの輸出全体の約1.49%)
在セルビア日系企業数	18社 (2014年末時点, 外務省)
日本企業現地法人(製造業)の雇用数	約800人 (2015年, 外務省)

人的つながり

項目	人数(直近年)
セルビアにおける在留邦人数	144人(2014年, 外務省)
在日セルビア人数	180人(2015年末, 法務省)
セルビアから日本への留学生数	27名(2015年, JASSO)
日本からセルビアへの観光客数	5,327人(2014年, JNTO)
セルビアから日本への観光客数	1,583人(2015年, JNTO)

日本とセルビア共和国との協力年表

年代	案件
1997年	ユーゴスラビア連邦共和国(2003年に「セルビア・モンテネグロ」に国名変更)を承認するとともに外交関係を開設
1998年	草の根・人間の安全保障無償資金協力開始
2001年	田中外務大臣のセルビア訪問 二国間支援を本格的に開始
2003年	一般無償案件「ベオグラード市公共交通力復旧計画」(18.5億円)により同市にバス93台が供与
2006年	モンテネグロの独立に伴い、セルビアがセルビア・モンテネグロを承継することを確認
2011年	タディッチ大統領の訪日を機に、セルビアに対する初の円借款「ニコラ・テスラ火力発電所排煙脱硫装置建設計画」(282.52億円)の実施を決定
2011年11月	ジューキッチ・デヤノビッチ・セルビア共和国議会議長訪日
2014年3月	ノン・プロジェクト無償資金協力(次世代自動車パッケージ)(5億円)によるセルビア政府への日本車150台の供与に関する交換公文に署名
2014年5月	セルビア中部で発生した大規模な洪水災害に対して、総額約1,200万円相当の支援を実施
2015年	シリア危機に端を発する欧州への難民流入に際し、その受け入れ支援のためセルビア及びマケドニアに対し、約520万ドルの緊急人道支援実施した他、対セルビア支援として、約458万ドルを拠出

ベオグラード市に供与された93台のバス。「日本の黄色いバス」の愛称でベオグラード市民に親しまれている。



セルビア政府に供与された日本車の引渡式において、車内を確認するフッチ首相。



洪水災害で、避難施設に到着した日本からの緊急支援物資。



欧州難民問題で、日本のセルビアに対する緊急支援物資の引渡式。



2016年、首都ベオグラードにて、2013年にユネスコの無形文化遺産に登録された和食の紹介イベントを開催し、日本料理の魅力をセルビアの料理関係者、一般消費者等に向けて発信。同イベントでは、和食試食会、日本酒試飲会、和食セミナー等を実施。



平成26年度対セルビア草の根・人間の安全保障無償資金協力「UP診療所×線撮影機材整備計画」が日本の支援であることを示す看板。

出典: ODA国別データブック2015
青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)
(注)青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。